

日本史(7) 古墳時代③「古墳文化の変化／古墳時代の人々の生活」

○今回のポイント

6世紀になると古墳文化が変化した。

ヤマト政権の内部で大王の権力が強まり、新たに台頭してきた有力農民を組み込もうとした。

古墳文化の変化

(1)古墳の変化

①古墳の形態の変化：竪穴式 → [1. 横穴式石室]

②新しい葬送儀礼にともなう多量の土器の副葬

③ [2. 横穴] (墓室を丘陵や山の斜面に掘り込んだもの) の出現

④埴輪の変化：人物・動物埴輪などの [3. 形象埴輪] の増加

→ 葬送儀礼・生前の首長が儀礼をとりおこなう様子を後世に残そうとしたもの。

(2)地域的特色の発生

①九州北部の古墳…石の埴輪である [4. 石人・石馬] が立てられる。

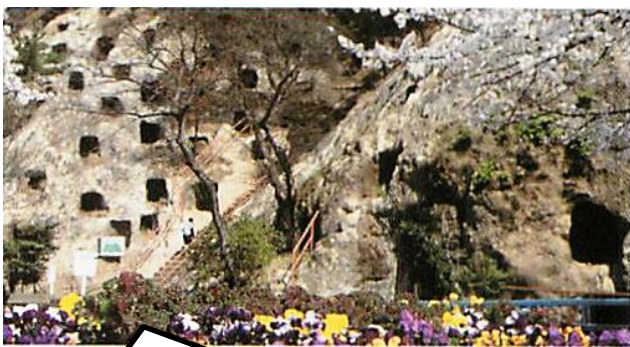
②九州各地、茨城県・福島県… [5. 装飾古墳] (古墳や横穴の墓室に彩色あるいは線刻による壁画を持つ)

(3) 5～6世紀における前方後円墳の分布の変化から見られるヤマト政権の性格の変化

近畿中央部	地方
大規模な前方後円墳が依然として営まれる	大きな古墳が見られなくなる
・ 従来 …各地の豪族が連合して政権を作る	
・ 変化後… [6. <u>大王を中心とした近畿地方の勢力に各地の豪族が服従する</u>]	

(4)群集墳の増加から見られるヤマト政権の性格の変化

○ [7. 群集墳] …6～7世紀、一定地域内に円墳など、規模の小さい古墳が多数群集して構築された古墳。古墳の造営など考えられなかった有力農民層までが古墳を作るようになったことの現れ。



[8. 吉見百穴] (埼玉県)
200基を超える横穴墓の群集墳。





[9. 新沢千塚古墳] (奈良県)
丘陵一帯の500基におよぶ円墳群。

・ 従来 …ヤマト政権の身分制度は首長層だけで構成されていた。

・ 変化後…新たに台頭してきた [10. 有力農民層] を組み入れてヤマト政権が直接支配下におこうとした。

古墳時代の人々の生活

(1) 支配者層と被支配者層の生活の分離

豪族(在地首長)	民衆
[11. 三ツ寺遺跡] (群馬県高崎市)	[12. 黒井峯遺跡] (群馬県渋川市)
	
<p>①豪族は民衆の住む集落から離れた場所に、周囲に [13. 環濠] や柵列をめぐらした居館を営んだ。</p> <p>②居館は豪族がまつりを執り行う場所かつ生活の場</p> <p>③余剰生産物を蓄えるための倉庫群</p>	<p>①民衆の集落には環濠は見られない。</p> <p>②複数の竪穴住居、[14. 平地住居]。高床倉庫</p> <p>③5世紀になると竪穴住居につくりつけの[15. カマド]が見られるようになる。</p>

(2) 土器と衣服

土器		衣服	
16. 土師器	17. 須恵器	男性	女性
古墳時代前期～中期	5世紀頃～		
		乗馬ズボン風[18. 袴]	スカート風[19. 裳]
弥生土器の系譜。赤焼き	朝鮮の技術。硬質で灰色		

(3) 信仰

① 農耕に関する祭祀

- ・ [20. 祈年の祭] …年の初めに五穀豊穡を祈る祭り。朝廷では旧暦2月4日に五穀豊穡と国家安寧を祈願
- ・ [21. 新嘗の祭] …収穫を感謝する祭り。勤労感謝の日の前身。天皇即位の年に行われると大嘗祭。

② 祭器の変化

弥生時代	古墳時代	5世紀
22. 青銅製祭器	銅鏡や[23. 鉄製]武器と農工具	祭器の模造品を[24. 石]で作る

③ 祭祀の対象

- ・ 円錐形の整った形の山や高い樹木、巨大な岩、絶海の孤島、川の淵、氏の祖先神([25. 氏神])信仰
- ・ [26. 大神神社] (おおみわじんじゃ) …奈良県。三輪山を御神体とし拝殿のみで本殿が無い。
- ・ [27. 宗像大社沖津宮] …福岡県。玄界灘の孤島沖ノ島を神としてまつる。

④ 呪術的風習

- ・ [28. 禊と祓] …ケガレを水で潔めることがミソギ。ケガレをはらいのける神事がハラエ。
- ・ [29. 太占] (ふとまに)の法…鹿の骨を焼いて吉凶を占う。
- ・ [30. 盟神探湯] (くかたち) …裁判に際し、熱湯に手を入れていただけるかどうかで審議を裁断する神判